

市の財政の今とこれから

やさしくみるのにお財布



今 財政は健全ですが、安心はできません

自治体の財政状況が良好かどうかを示す「健全化判断比率」は良好な状態です。しかし、医療や福祉などにかかる費用が増え、自由に使えるお金が少ない状態が続いています。

健全化判断比率の4つの指標

指標	札幌市	早期健全化基準*
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率 一般会計、特別会計、企業会計を合わせた赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	4.9%	25%
将来負担比率 将来の負担になる借金の割合	61.8%	400%

財政力指数

標準的な行政サービスにかかるお金を自治体自らが賄える割合

札幌市
0.718
政令市平均
0.863

政令市20都市中 **19位**

経常収支比率

人件費や借金の返済などが市税などの定期的な収入に占める割合

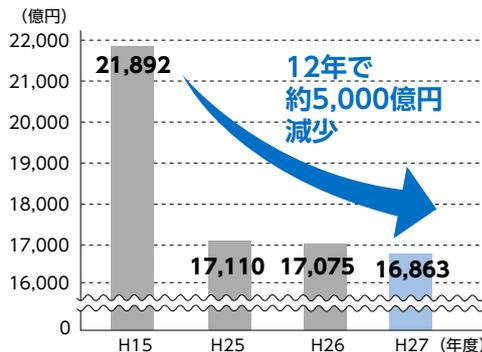
札幌市
91.6%
政令市平均
94.8%

政令市20都市中 **5位**

※この数字を上回ると財政健全化への取り組みが必要になります

市債残高は12年連続で減っています

市債とは市の借金のことです。市全体の市債残高の合計は前年度に比べ、212億円少なくなりました。



これから 収入の伸びは期待できず、支出は増える見込み

働く世代が減り、市税などの大幅な収入の増加は見込めず、一方で、社会保障や市の建物の更新にかかる費用が増えることが予想されます。

お金の使い方と集め方の見直しをより一層進めます

■めりはりの効いた財政運営

平成31年度までの歳入・歳出を見定め、子育てや観光などの分野に重点的に予算を配分します。

■財政基盤の強化

利用する見込みのない市有地の売却や市税などの収納対策を強化し、市が自由に使えるお金を増やします。

■収支の見直し

事務の執行方法やサービスの提供にかかる利用者負担を見直します。

■市債の適切な管理

将来に過度な負担を残さないために、効率良く事業を進め、市債の発行額の抑制に努めます。

詳細 企画調査課へ(2022)16

市では、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお知らせするため、予算の執行状況や決算を毎年公表しています。このページでは、市の財政状況や平成27年度の決算の概要をお伝えします。

早速、全体の状況から見ている



次は、
会計ごとに
見ていくよ



平成27年度決算の状況

各項目・区分ごとに四捨五入しているため、
合計などが一致しないところがあります

一般会計

福祉や道路の整備など、
市の基本的な事業の会計

歳入は市債や国庫支出金などが見込みよりも少なかったものの、歳出をできる限り節約したことから、歳入から歳出を差し引いた収支は70億円の黒字になりました。

歳入総額 8,878億円

前年度比33億円減(0.4%減)

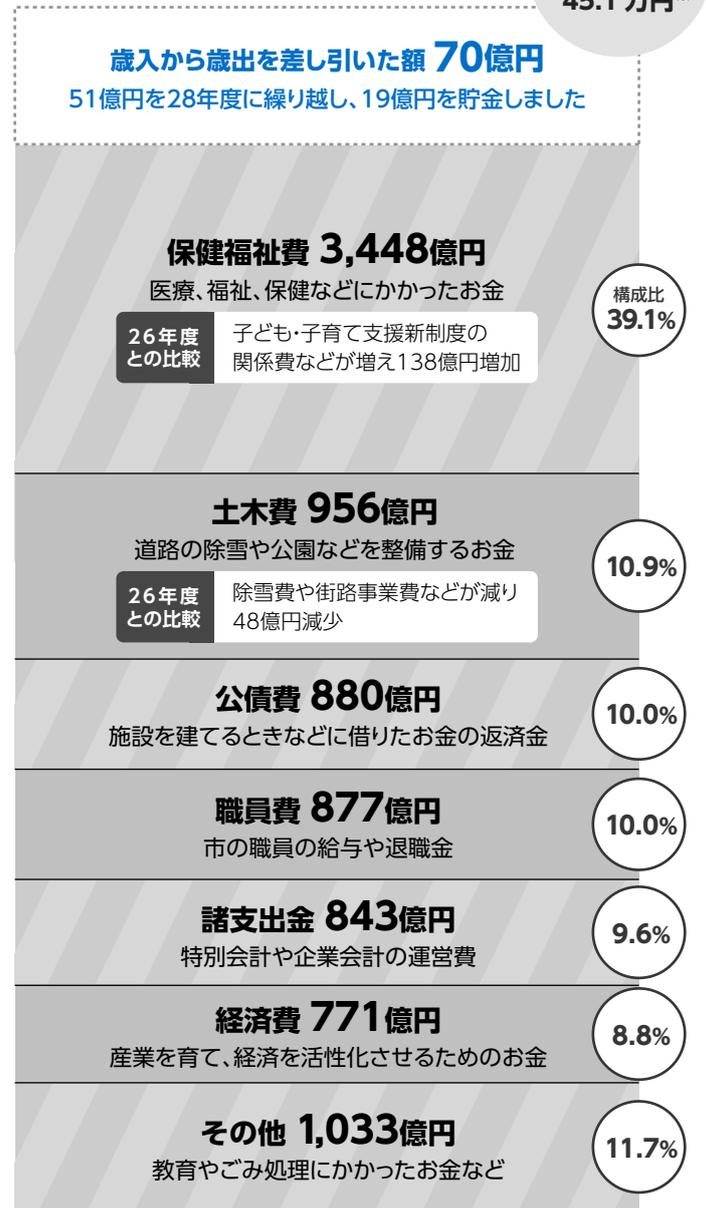
歳出総額 8,808億円

前年度比19億円減(0.2%減)

市民1人
当たりにかかった
サービスの額
45.1万円*

歳入から歳出を差し引いた額 70億円

51億円を28年度に繰り越し、19億円を貯金しました



*平成28年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出

特別会計

一般会計とは区別が
必要な事業の会計

8つある特別会計は
いずれも赤字はあり
ませんでした。



区 分	歳 入	歳 出	差し引き
土地区画整理	39億円	39億円	0円
駐車場	9億円	8億円	1億円
母子父子寡婦福祉資金貸付	3億円	1億円	2億円
国民健康保険	2,330億円	2,317億円	13億円
後期高齢者医療	231億円	223億円	9億円
介護保険	1,270億円	1,259億円	11億円
基金	19億円	19億円	1億円
公債	3,869億円	3,869億円	0円

企業会計

地下鉄や水道など、民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計

27年度の営業成績を示す収益的収支は、地下鉄、水道、下水道では黒字になりましたが、市立札幌病院、中央卸売市場、路面電車では赤字になりました。



市立札幌病院



【収益的収支】

収入 222億円
- 支出 230億円

-8億円

【主な整備内容】

老朽化した設備や医療機器の更新

資金の残高
11億円
赤字の累計額
82億円

中央卸売市場



【収益的収支】

収入 24億円
- 支出 26億円

-2億円

【主な整備内容】

市場の衛生管理のための設備機器類を更新

資金の残高
10億円
赤字の累計額
38億円

路面電車



【収益的収支】

収入 15億円
- 支出 17億円

-1億円

【主な整備内容】

老朽化した線路設備の更新

資金の残高
6億円
赤字の累計額
4億円

地下鉄



【収益的収支】

収入 505億円
- 支出 406億円

+99億円

【主な整備内容】

東豊線車両の更新や南北線自衛隊前駅の耐震改修工事

資金の残高
1億円
赤字の累計額
2,460億円

水道



【収益的収支】

収入 451億円
- 支出 333億円

+118億円

【主な整備内容】

施設、水道管路の更新や耐震化

資金の残高
140億円
※水道施設更新
積立金76億円を
含む

下水道



【収益的収支】

収入 532億円
- 支出 480億円

+51億円

【主な整備内容】

老朽化した下水道管路や施設の改築、浸水対策、地震対策

資金の残高
63億円

資産

※平成28年3月末現在

基金

まちづくりやスポーツ振興などの使い道を決めたお金や、財源の過不足を調整するときを使う貯金

残高3,169億円
財政調整基金173億円など22基金

財産

公園や学校などの公有財産や物品、債権

公有財産 土地5,493万㎡、建物(延べ面積)569万㎡、有価証券15億円、出資による権利160億円[※]と物品(100万円以上のもの)4,849点(台) 債権(民間への貸付金など)37億円



平成28年度の予算の執行状況

平成28年9月末現在。各会計ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないところがあります

一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
9,554億円	37.6%	37.7%

特別会計

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	2,285億円	34.4%	42.6%
介護保険	1,329億円	39.6%	40.4%
その他	284億円	35.0%	28.8%

市債残高 合計16,702億円

一般会計	特別会計	企業会計
10,038億円	21億円	6,643億円

企業会計(収益的収入と収益的支出)

区分	収入予算額	収入執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	235億円	47.0%	239億円	49.0%
中央卸売市場	24億円	47.8%	26億円	19.3%
路面電車	17億円	39.8%	20億円	23.2%
地下鉄	503億円	46.1%	433億円	22.1%
水道	449億円	48.3%	360億円	38.1%
下水道	527億円	40.8%	497億円	16.2%

一時借入金残高

企業会計(病院) 14.1億円
企業会計(地下鉄) 50.0億円

基金残高 3,200億円

市の財政の詳細は、ホームページ(www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo)でもご覧になれます